

図書館だより

目次

| | | |
|-----------------------------|-----------|---|
| シラーハウス | ——西山 力也 | 1 |
| ヨーロッパの建築インテリア巡り | ——田島 恭子 | 2 |
| 平成18年度図書館利用者アンケート結果に基づく改善報告 | ——中曽根 緑 | 3 |
| 日本女子大学図書館ホームページが新しくなりました！ | ——ホームページ班 | 6 |
| 平成19年度夏期スクーリング開館について | ——田島 明子 | 8 |



ブレーメンの音楽隊の像

シラーハウス

西山 力也

ヴァイマルには Schillerhaus を含め Goethehaus, Nietzschehaus, Lisztthaus など、...haus と呼ばれる建物が多い。無論「…の家」の意味で、たいてい記念館になっているのだが、ゲーテハウスとシラーハウスは博物館を併設、本来の「家」は可能なかぎり当時のまま保存され、説明書きなど、どこにもない。主人は出かけておりますが直ぐ戻ります、とでもいうような錯覚を抱かせるドイツ流の演出、ゆえに見学者はガイドの説明に頼るか、前もって下調べしておくかしかない。

シラー通り12番地。シラーハウスがあるこの通りはヴァイマルで一番の繁華街、だが当時はまだ市の外れ、中世以来の城塞と囲壁が取り壊された跡地で、並木道や池のあるエスプラナーデと呼ばれる公園になっていた。3階建て、1777年築、当時の建物で現存する唯一のもの。シラーは1802年4月から3年余の最晩年をここで過ごす。静かな環境、屋階に設えた書斎で、彼は戯曲『メシーナの花嫁』『ヴィルヘルム・テル』を完成するもの、1805年5月9日、悲劇『デメトリウス』執筆半ばにして急逝、享年46歳。その後1826年寡婦シャルロッテ・シラーの死に伴い家は人手に渡るが、1847年ヴァイマル市に買い取られる。第2次大戦による甚大な被害は修復で乗り越え、1988年、同家裏に建設された博物館竣工に合わせて全面的な復元工事がなされて今日に至る。

私は旧東独時代から何度も訪れているが、やはり最初の印象が忘れ難い。ゲーテハウスとの比較。余りにも儉しい。だが、片や寵臣として君主からの贈物、片や金策のすえに取得した終の住処、当然の差なのだろう。違和感ゆえに敬遠しあっていた二人も、1794年7月原植物をめぐるとの対話から、むしろ観方の、人間的資質の対極性ゆえに意気投合、無二の親友となる。シラーの定義では素朴文学と情感文学、即ち自然と精神の違い。しかしトーマス・マンが「憧れにも似た敵意」と呼んだ精神の子シラーの自然ゲーテに抱く情念は痛々しい。にもかかわらず彼は、文壇での共闘はもとより、助言と批評でゲーテの詩的生産を促し、手を携えてドイツ古典主義文学を確立してゆく。年下の親友の死はゲーテには自己喪失同然の衝撃であった。剖検所見は肺炎、左肺は殆ど壊死していた。

1805年初頭、二人は共に病床にあったが、先に小康を得たシラーが3月1日ゲーテを見舞う。「二人は互いに抱きつき、長い、心をこめた口づけを交わし、どちらかが言葉を発するまで抱きあっていた。」シラーの書斎兼寝室のベッドの前に佇んだとき、私はこの、先取りされた、相互の労いと永別の予感にみちた情景を思い浮かべていた。簡素なベッド、ゲーテの寝室もベッドも同様に簡素、両者の共通点を見る思いもして、感動が一段と高まったのである。(図書館長・史学科教授)

ヨーロッパの建築インテリア巡り

田島 恭子

このたび、母校の図書館に拙書『写真でたどるヨーロッパ建築インテリア大事典』が収蔵され、この『図書館だより』にも取り上げていただき、まことに光栄である。

住居学科20回生の筆者は、卒業後の建築設計業の傍ら、1972年からヨーロッパの建築巡りを続けた。その間、イギリスのエジンバラに環境保存専攻で留学、帰国後、北米系輸入住宅等の設計実務を通して、顧客の好む欧米のインテリア様式の研究を重ねた。近年は夫の転勤に伴い、ドイツのデュッセルドルフとイタリアのローマに足掛け7年居住し、近隣の建築巡りも日常となった。また日本の企業研修や各種スクール、大学で、建築インテリア様式などを解説し、受講者は述べ六千人を超えた。こうした長年の建築ウォッチャー歴と講義体験から、昨年原稿をまとめ、今年1月に柏書房から出版した。新石器時代から現代まで旅行者向けに現存する建物を主とし、写真の多い気楽な本で、結果的に厚くなり携行には不向きだが、事前の旅行ガイドとして大いに活用して頂きたい。

それでは、実際に鑑賞できる書斎・図書室関連のインテリアを、本の中から幾つかあげてみよう。

まずは、2世紀初頭、古代ローマのハドリアヌス帝は、今のイギリスまで進出し長壁も残るが、国内ではローマ郊外のチボリに広大な別荘、ヴィラ・アドリアーナ(118-134)を建設した。ここには池の回りの柱や床モザイクなど一部が残り、図書室はローマの市立博物館に復元されている。当時は書物が巻物であったため、呉服屋の反物棚のような本棚に囲まれ、鳥獣グリフィンの足で支える重厚なテーブルが置かれている。(p27) これらのデザインは、18世紀のイギリスのジョージアン様式、19世紀初頭のナポレオンのアンピール様式など、新古典様式に取り入れられた。



「II ルネサンス以降の古典様式」の一頁

次は5世紀初頭イタリアのラヴェンナに残るガッラ・プラチディア廟で、壁面の素朴なモザイク画に、ペディメント(頭部の三角形)付き家具が見られる。この中に高価な聖書や僧衣を納め、宗教建築から、物が増えると民間まで、こうした収納家具が徐々に広まり現代に至る。(p32)

日本では15世紀末、慈照寺観音堂(銀閣)の隣に足利義政の書斎である東求堂が建てられ、現代の和室に近い書院造が整った。同朋衆により掛け軸や工芸品、文具の飾り方も決められた。

イタリアのルネサンスでは、フィレンツェのラウレンツィアーナ図書館への階段(1524-68)は、ミケランジェロにより裏方でなく表舞台に変わった。(p71) この図書館は、中央通路の両側に、書物が設置された長机とベンチが並び、その場で読む形式である。また現在はウフィツィ美術館の一部となるフランチェスコの書斎(1560-80)は、3m×8mの暗い密室で、壁画枠が隠し扉で中の棚に貴重な美術品を収納した。(p72) 裕福な男性の書斎の、東西比較も興味深い。

この頃の日本には種子島に鉄砲が伝わり、フランシスコ・ザビエルが来日(1549)してキリスト教を伝道し、パエリアなど西洋料理も紹介された。そして天正少年使節が渡欧(1582-90)し、ローマ法王に謁見して、帰国時に活版印刷機やヴェネチア製のガラス鏡などの、インテリア工芸品も持ち帰った。秀吉は寝室でヨーロッパのベッドを愛用し、洋風インテリアの幕開けとなった。

その後、ヨーロッパの修道院では豪華なバロック様式の図書館建築が流行し、ポルトガルのマフラ修道院(1717)の華やかな図書館では、夜行性の蝙蝠を飼い本の虫を退治したそうだ。(p110)

19世紀初頭、読書好きのナポレオンは、パリ郊外の自宅マルメゾンに古代ローマ風の図書室も作り、旅の馬車で運び易い楕円形に収まる簡易書斎のデスクと椅子セットも愛用した。(p128)

その後パリでは、大空間が可能となる鉄骨造で、アンリ・ラブルースト設計のサント・ジェヌビエーブ図書館(1834-50)、国立図書館の増築(1862-68)がなされた。(p151) 近年のガラス超高層ビルの連なる国立図書館(1994)は、ドミニク・ペロー設計で、斬新さで話題を呼んだ。(p204)

* 目白・西生田所蔵 請求記号523.3-Taj

(住居学科非常勤講師)

平成18年度図書館利用者アンケート結果に基づく改善報告

図書館では、平成18年度秋に学部学生、大学院生、教職員を対象としたアンケート調査を実施し、結果を図書館ホームページ上で公開するとともに『図書館だより』No.128及びNo.129に抜粋を掲載して報告した。

平成19年2月頃からは全館をあげてアンケート結果に基づく改善の検討・実施に取り組み、平成19年7月27日現在の改善報告をホームページ上に掲載した（次頁参照）。その内容には既存のサービスの紹介や、改善がすぐには困難なことに対して理解を求める説明も含まれている。

図書館には、図書館の運営及び利用等に関する基本を協議する図書館運営委員会のほか、館員の協議の場として全体会、各課の会、図書館総合計画委員会、図書選定委員会、JWULIS委員会などがあり目的に応じて活動を行っている。平成18年度の利用者アンケート実施にあたっては、図書館総合計画委員会が中心となり、計画から結果集計、改善検討のための課題抽出、検討の担当振り分けを行った。また図書館長より、アンケートで寄せられた意見・提案には建設的に対処し一步でも前に踏み出さなければならないとの基本姿勢が全館員に示された。主な取り組みを紹介する。

まず蔵書構成・資料の充実については、専門図書・雑誌への要望とともに「気軽に読める本、話題の本」などへの要望も多く出された。当館は本学教職員、学生の研究ならびに教育に必要な図書、資料等を収集し閲覧に供して本学の教育と研究に資することを目的としており、その目的に沿った資料収集方針、選書基準に従い蔵書構築を行っている。したがって蔵書の大部分は学術書となる。今回、主として学部学生から出された気軽に読める本などへの希望をどう取り扱うか検討した結果、寄せられた意見に少しでも応えるべく「学生が読みたい本」と称して、大学図書館にあった方が良くと思う本、読みたい本を平成19年度の試行として募集することにした（詳細は5頁の募集案内参照）。この『図書館だより』が発行される頃には受付期間が終了しているが多数の応募があり、学生と図書館との一つのコミュニケーションの機会となることを願っている。専門図書・雑誌の充実については図書選定委員会で継続的に検討している。

次に目白図書館入館時にかばん類をロッカーに預けることについて「面倒である。図書館に立ち寄りにくい。」との意見が多数寄せられたことに対する改善策であるが、平成19年10月23日（火）より2階から4階の図書フロアに限りかばん類の持ち込みを認めることにした。1階和雑誌、5階洋雑誌フロアは引き続き持ち込みを制限するので、雑誌利用の際にはかばん類をロッカーに預けていただきたい。遡れば昭和39年、現目白図書館新設当初はかばん類を持って入館できる方式であったが、紛失本が増大したため十分な検討の末、昭和46年度後期よりロッカーに荷物を入れて入館する方式を始めた。時代の変化とともにセキュリティは向上したがいまだ万全でない面があり、雑誌フロアへのかばん類持ち込みは制限を続けることとした。西生田図書館は全館的に荷物持込自由であるが、目白図書館には古い資料などもありご理解をお願いしたい。



1階カウンター前に移設されたロッカー

図書館ホームページについては、利用者アンケート実施以前より改善に向けて検討に着手していたが、アンケートで寄せられた意見の一部を取り入れた形で平成19年9月20日（木）にリニューアルを行った（主な変更点は6～7頁参照）。今後もさらなる充実に努める予定である。

トイレや空調など施設・設備への意見もきわめて多かった。すぐには抜本的な改善が難しい事柄であるが、管理、清掃などの面で関係各部署による配慮が日々なされていることを報告しておく。

今回のアンケート結果では、すでに実施中のサービスを望む意見が寄せられる等、現行のサービス内容が十分に知られていないことにも気づかされた。有効な広報のあり方も課題となっている。これからも残された課題について検討を重ね、図書館サービスの向上をめざして努めてまいります。

（館員・情報サービス課長 中曽根緑）

－平成18年度図書館利用者アンケート結果に基づく改善報告－
 図書館ホームページ上に掲載の内容（2007年7月27日付）

| 項目 | 改善の内容 |
|------------|--|
| 蔵書構成・資料の充実 | これまでもご案内してきたことですが、研究上必要な図書・雑誌が本学に無い場合は、目白・西生田の参考デスクでご相談ください。 |
| | 「学生が読みたい本」を2007年10月23日（火）～11月10日（土）に募集します。（詳細は次頁をご覧ください。） |
| | 利用可能なデータベース、オンラインジャーナルについては、2007年度の新規導入を含め学外サーバ、オンラインジャーナルをご覧ください。 |
| | 「講談社現代新書」の全点購入を西生田図書館でも開始しました。 |
| | 雑誌 JJ, CanCam, Vogue Nippon の購入を開始しました（目白）。 |
| 施設・設備 | 目白図書館2階～4階（図書フロア）へのかばん類持ち込みを2007年10月23日（火）から解禁します。1階・5階（雑誌フロア）を利用する際は、2階入口または1階、5階に設置のロッカーにかばん類を入れてください。 |
| | 目白図書館の建物・設備に関する問題については、長年にわたり状況を学校法人に説明し新館建設を要望しています。 トイレの改修については2003年度に学生自治会から要望が出された際、施設関係部署に依頼をしました。館内の意見箱にも意見が寄せられています。学校法人全体の施設計画の中で検討される事柄です。 |
| | 図書館の空調については、地球温暖化防止の観点に基づく関係機関の指導等をふまえ、学校法人として運転期間・温度が定められています。2007年度の場合、原則として冷房は6月15日（金）～9月15日（土）の期間・28℃、暖房は11月15日（木）～3月25日（火）の期間・22℃です。館内の場所により温度が異なる場合がありますので、お手数ですが席の移動や衣服の調節などで対応をお願いします。 |
| | 温度計を増やし空調管理の対応を依頼しました（目白）。 |
| | 1階、3階、4階に書架を増設します（西生田）。 |
| | ブラウジングコーナーの椅子をきれいなものに交換しました（目白）。 |
| | 5階AVブースを3ブースから4ブースに増設しました（目白）。 |
| | 館内の壁掛け時計を増やします。 |
| サービス | 開館時間について、2007年度は試験期の1週間前から通常より30分早く開館します。詳細は開館日程をご覧ください。 |
| | 図書館ホームページを2007年9月20日（木）からリニューアルします。 |
| | 配布用日程表を見やすい形式に改訂しました。 |
| その他 | 図書館員に対して寄せられた意見について、全スタッフで共有し、サービスの一層の向上にむけて努力をしています。 |

* 改善内容がまとめ次第、更新します。最新の内容は図書館ホームページ上でご覧ください。

－平成18年度図書館利用者アンケート結果に基づく改善報告－
「学生が読みたい本」募集案内

平成18年度実施の図書館利用者アンケートで、大学図書館の蔵書について「読みたい本が無い」「もっと気軽に読める本、話題の本を入れてほしい」との要望が多数寄せられました。

大学図書館には「購入希望図書制度」があり、図書館利用者の方は「研究上」必要とする資料について随時、参考デスクにて希望を出すことができます。

この「購入希望図書制度」とは別に、2007年度秋に新たな試みとして下記のとおり「学生が読みたい本」を募集することにいたしました。ご自身の研究に直接関係のない本でも「大学図書館にあった方が良いと思う本、読みたい本」をふるってお出してください。

～あなたが大学図書館にあった方が良いと思う本、読みたい本をお出してください～

- 受付期間 2007年10月23日（火）～11月10日（土）
- 申込方法 目白・西生田図書館内に設置の「学生が読みたい本」受付箱に所定申込用紙に記入の上、投函してください。
- タレント本、マンガ、雑誌、同人誌、学校教科書、教師用指導書、その他公序良俗に反するものの申し込みはご遠慮ください。
- 受付期間終了後、図書館で検討の上「購入決定」「購入せず」の結果を図書館内の掲示にてお知らせします。予算その他の理由により全てのご希望に添えない場合があります。
- 購入資料は、目白・西生田図書館内の「学生が読みたい本」コーナーに並べます。希望された方への連絡、取り置きはいたしません。

「購入希望図書制度」と「学生が読みたい本」の違い

| | 購入希望図書制度 | 学生が読みたい本 |
|-----------|--------------------|----------------------------------|
| 希望目的 | 研究のため | 研究目的に限らず、大学図書館にあった方が良いと思う本、読みたい本 |
| 受付期間 | 随時 (参考デスク受付時間内) | 一定期間 2007年10月23日（火）～11月10日（土） |
| 受付場所 | 参考デスク | 目白・西生田図書館内の「学生が読みたい本」受付箱 |
| 購入希望者への連絡 | 行う | 行わない |
| 対象者 | 図書館利用者 | 学生(学籍番号を持つ方) |

日本女子大学図書館ホームページが新しくなりました！



ここが変わりました！

☆トップページ（上掲）から目的のページが探しやすくなりました。

蔵書検索

☆OPAC（当館蔵書検索）のヘルプ

各画面からその内容に対応したヘルプページにとべるようになりました。

☆学外の蔵書検索

よく使われる学外の蔵書検索をまとめました。「その他」にはf-Campus 協定校ホームページへのリンクもあります。

情報検索

☆オンライン・データベース

旧ホームページでは分かれていた「学外サーバ」と「Online Journal」を統合しました。

☆電子ジャーナルリスト（A to Z）

本学で読める電子ジャーナルのA to Z タイトル順リストおよび検索、分野別表示等ができます。より利用しやすくするためにトップページに載せました。

文献のさがし方

☆資料別にさがす

こういう資料は、どのデータベースを使ってさがせばいいの？という時に便利です。

☆テーマ別にさがす

このテーマを研究するには、どのような資料やデータベースを使えばいいの？という時にご覧ください。近日公開予定のものもあります。

☆所蔵新聞リスト

「〇〇新聞はどこにありますか？」その問い合わせに応え、本学図書館が所蔵している主要な日刊新聞のタイトル、所蔵期間等がホームページ上で一覧できるようになりました。

☆所蔵視聴覚資料リスト

本学図書館が所蔵している主要な視聴覚資料のタイトル等がホームページ上で一覧できるようになりました。こんな貴重な資料も所蔵していたのね！…という発見があるかもしれません。

利用案内

☆総合案内の他、利用者別の案内を設けました。該当する利用案内をご覧ください。シンプルな資料配置案内も追加しました。

学内刊行物

☆「本学紀要」と「図書館だより」にトップページからとべるようになりました。

開館カレンダー

☆3ヶ月分の開館カレンダーを同じページにまとめました。開館時間を具体的に表示し、さらに色分けもしました。

☆目白⇄西生田相互利用便到着日は📺で表示。

☆トップページに戻らなくても目白⇄西生田開館カレンダーを直接行き来できるようにになりました。

HOME > このページ > [開館カレンダー\(西生田\)](#)

| October (2007.10) | | | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT | |
| | 1 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 2 9:00-20:00 9:10-18:50 | 3 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 4 9:00-20:00 9:10-18:50 | 5 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 6 9:00-17:00 9:10-16:50 | 📺: 相互利用便 上段: 2~4階 下段: 1階5階 |
| 7 CLOSED | 8 CLOSED | 9 9:00-20:00 9:10-18:50 | 10 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 11 9:00-20:00 9:10-18:50 | 12 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 13 9:00-17:00 9:10-16:50 | 10/8 体育の日 |
| 14 CLOSED | 15 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 16 9:00-20:00 9:10-18:50 | 17 📺 9:00-17:00 9:10-16:50 | 18 9:00-17:00 9:10-16:50 | 19 📺 9:00-17:00 9:10-16:50 | 20 CLOSED | 10/17~19 目白祭準備 |
| 21 CLOSED | 22 📺 9:00-17:00 9:10-16:50 | 23 9:00-20:00 9:10-18:50 | 24 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 25 9:00-20:00 9:10-18:50 | 26 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 27 9:00-17:00 9:10-16:50 | 10/20*21 目白祭 |
| 28 CLOSED | 29 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 30 9:00-20:00 9:10-18:50 | 31 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | | | | 10/22 目白祭後片付け |

| November (2007.11) | | | | | | | |
|--------------------|-----|-----|-----|-------------------------------|---------------------------------|-------------|----------------------------------|
| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT | |
| | | | | 1 9:00-20:00 9:10-18:50 | 2 📺 9:00-20:00 9:10-18:50 | 3 CLOSED | 📺: 相互利用便 上段: 2~4階 下段: 1階5階 |
| 4 | 5 📺 | 6 | 7 📺 | 8 | 9 📺 | 10 | 11/3 |

開館カレンダー (目白)

フロアマップ

☆何階にはどの資料があり、どんな施設があるの?という時にすぐに見られるよう、フロアマップをトップページにもってきました。

お知らせ

☆日本女子大学図書館はよりよいサービスを目指し、日々努力しております。利用者の皆様には是非お知らせしたい内容をトップページに掲載します。一日一回はチェックしてくださいね。

☆「過去のお知らせ」欄を設けました。もう一度見ようと思ったお知らせがない!と慌てずに、こちらをご覧ください。

その他

☆日本女子大学ホームページの交通アクセスにもトップページからとべるようになりました。

☆サイトマップも作成しました。新ホームページにはどのようなページがあるのかしら?

リニューアルこぼれ話

2007年9月20日、日本女子大学図書館ホームページのリニューアルを行いました。1996年にホームページを公開して以来、その内容の充実に向けてきましたが、2006年4月頃より、トップページも含めたリニューアルの気運が高まりました。情報収集、技術の獲得、すべて手探り状態で懸命に走り続けた1年半でした。快くリンクを許諾してくださった他機関の方々、ご助力くださった学内の方々には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。これからもさらなる内容の充実を目指して日々励みます。

(館員・ホームページ班 芳賀弥生, 田代陽子, 中澤恵子, 赤塚愛子 (2007.7~))

平成19年度夏期スクーリング開館について

今年も夏期スクーリング開館が7月30日（月）から8月25日（土）までの4週間、連日35度を超える猛暑の中で行われました。

毎年、通信教育課程の学生が通学して集中授業を受ける夏期スクーリングの期間、目白キャンパスの図書館では日曜を除き毎日開館しています。

スクーリング受講生には例年のこととはいえ、今年の猛暑で体調をくずされた方があったのではないかと気がかかります。

図書館はもちろん冷房完備ではありますが、築後40年を過ぎたご老体ゆえに外気温に冷房設備が負けてしまったのか、館内では座っていても汗が出るほど蒸し暑く感じられる日もありました。快適な環境で学習・研究の場を提供せねばならないはずの図書館として申し訳なく思っています。

今年の利用状況は左下の表のとおり。受講者数自体が減少し、図書館の利用もほぼ全ての項目で減少しました。以前は休み時間や講義の終了後には複写機の前が長蛇の列になったコピー枚数は昨年驚くほど減少しました。今年は昨年よりは増加しましたが、35,000枚以上もの枚数であった数年前のように混み合うことはなくなりました。大学生協など図書館以外の複写機の利用も考えられますが、インターネットの普及など学習方法の多様化もその理由のひとつかと思われます。

今年度より本学の通信教育課程に大学院が設置されました。通信教育課程の大学院生を迎える初めての年でもありました。より高度な知識を求める大学院生の方たちに少しでも利用しやすくなるように、図書館も努力していかなければなりません。

図書館ホームページや様々なデータベースなどを最大限に利用して学習・研究に役立てて豊かな学生生活を送っていただきたいと願っています。

（館員・閲覧係 田島明子）

参考係利用状況（質問処理件数）

| 年度（日数） | 19（15） | 18（15） | 17（20） |
|-------------|--------|--------|--------|
| 一般学生・教職員 | 49 | 38 | 57 |
| スクーリング生・その他 | 41 | 56 | 96 |
| 合計 | 90 | 94 | 153 |
| 1日平均 | 4.5 | 6.3 | 6.7 |

編集後記 昨年度、新規に図書館の書架に並んだ図書は目白・西生田計で約1万9千冊。各冊に著者の思いがぎっしりとこめられている。田島恭子先生のご著書、紙面の関係で各頁の写真掲載には至らなかったが、是非、現物を手にして直に内容に触れて頂きたい。10月23日より目白図書館2～4階へのかばん類持ち込みを解禁した。概ね好評のようである。昭和40年代の『図書館だより』No.7, No.20～No.23等で持込制限開始当時の経緯を辿ることができる。巻頭写真は西生田で図書受入・相互協力・閲覧業務に従事している山内佳奈子さん撮影。渡欧時の趣ある複数写真の中から館長の巻頭言に呼応して、Dの写真を掲載した。（中曽根）



スクーリング時の文献調査・学習風景